

5 誰もが安心できる滋賀の健康福祉の推進

障害者・高齢者がいきいき暮らせる福祉社会づくり

平成18年度における取り組みとその概要（新規事業を中心に）

誰もが安心でき、障害者・高齢者がいきいきと暮らせる福祉社会の実現を目指し、県民の主体的な参加を得た福祉の多様なサービスの充実を図る。

1 障害者雇用の環境づくり

障害者が安定した収入を得て、地域において自立し安心して暮らせる社会を目指して、福祉的就労の場への支援に止まらず、福祉的就労から一般就労への移行を促進するとともに、障害者雇用促進事業者や授産施設等から優先的に物品を調達する仕組みを創設するなど、より充実した障害者雇用の環境づくりを図る。

（1）新たな就労の場の創出

- ・ 障害者雇用創出事業 25,737千円
- ・ 障害者IT利活用推進事業 17,962千円
- ・ 障害者職場実習推進事業 6,256千円

（2）就労支援の推進

- ・ 働き・暮らし応援センター事業（商工観光労働部と連携） 8,289千円
- ⑨ ・ 「滋賀県ナイスハート物品購入制度」の創設 300千円

2 障害者等の地域生活支援

障害者が地域で自立した生活を送るため、必要となるサービス基盤を整備するとともに、地域におけるきめ細やかな支援体制の整備を行い、障害のある人もない人も誰もが安心して暮らせる地域社会づくりを目指す。

（1）サービス基盤の整備

- ・ 自立支援制度推進事業 1,807,276千円
- ・ 民間心身障害児者施設整備費補助 163,750千円

（2）支援体制の整備

- ・ 知的障害者地域生活移行促進緊急体制整備事業 41,784千円
- ・ 自閉症等発達障害支援体制整備事業 13,285千円
- ⑨ ・ 知的障害者自立生活支援事業 3,782千円

平成18年度における取り組みとその概要（新規事業を中心に）

⑨	・ 障害者自立支援協議会事業	14,083千円
⑨	・ 視覚障害児早期療育強化事業負担金	2,000千円
	・ 難病相談・支援センター事業	8,306千円
⑨	・ 甲賀地域障害者自立支援ふれあいねっとモデル事業（甲賀）（再掲）	3,090千円
	（3）精神保健福祉の推進	
⑨	・ 高次脳機能障害支援センター設置事業	3,558千円
⑨	・ 社会的ひきこもり対策事業	2,161千円
	・ 精神科通院医療費助成事業	18,282千円
	・ 精神障害者社会復帰施設運営等助成事業	677,357千円
	（4）障害児教育諸学校施設の整備（再掲）	933,878千円
	・ 養護学校の再編整備 （仮称）野洲養護学校	
⑨	八日市養護学校	
	・ 高等養護学校の高等学校への併設整備	
⑨	（仮称）甲南高等養護学校	

3 元気で活動的な85歳の仕組みづくり

元気創造滋賀モデルの構築のため、高齢者のチャレンジを支援する仕組みづくりの環境整備を進め、誰もが「元気で活動的な85歳」となる健康長寿社会と地域における安心システムへの取り組みを進める。

（1）「地域社会の主力にチャレンジ」できる仕組みづくり

⑨	・ 協働起業家育成支援プロジェクト	4,415千円
⑨	・ 魅力ある老人クラブ活動促進モデル事業	3,000千円

（2）「楽しく充実した生活にチャレンジ」できる仕組みづくり

	・ 健康づくり、生きがいづくりの推進事業	18,800千円
	・ 日本まんなか共和国健康いきいき交流フェア滋賀県選手団派遣事業	2,857千円

（3）「介護予防・健康づくりにチャレンジ」できる仕組みづくり

	・ 県民主導介護予防地域づくり促進事業	4,768千円
⑨	・ 介護予防地域づくり実践モデル事業	2,285千円
⑨	・ 地域ふれあい介護整備費補助金	21,000千円

（4）「要介護状態でも自立に向けてチャレンジ」できる仕組みづくり

平成18年度における取り組みとその概要（新規事業を中心に）

⑨	・認知症相談医養成事業	2,296千円
⑨	・認知症まちかどマンパワー支援事業	390千円
	・福祉用具・住宅改修活用広域支援事業	1,317千円
	（5）高齢者の尊厳の保持	
	・認知症高齢者・家族地域支援体制づくり	6,461千円
⑨	・高齢者成年後見支援センターの指定	5,184千円
⑨	・若年認知症プロジェクト	2,800千円
	（6）専門的人材の育成	30,367千円
	（7）介護サービス基盤の整備	
	・第2期計画における整備	630,000千円
	特別養護老人ホーム 3か所（4,041人 4,181人）	
	養護老人ホーム（改築）	
⑨	・個室ユニット化協働促進費補助金	425,600千円
	（8）介護保険制度の推進	
⑨	・ケアプラン自己作成推進事業	1,300千円
	・介護サービス情報の公表環境整備事業	4,507千円

生涯を通じた健康づくりの推進

平成18年度における取り組みとその概要（新規事業を中心に）

誰もが人生80年時代をいきいきと過ごすため、生涯を通じた健康づくりへの支援やこれを支える保健医療の充実を図る。

1 元気に暮らす健康づくりの推進

ヘルスプロモーションの考え方により家庭、学校、地域、職域が一体となった総合的な健康づくり運動を展開し、県民の生活習慣病の減少、健康寿命の延伸を図る。

また、高齢者や障害のある人が、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、体系的なリハビリテーション提供体制の整備、充実を図る。

（1）健康滋賀の推進

・地域職域健康支援協働ネットワーク事業	3,513千円
・うつ病対策（自殺予防）事業	2,500千円
⑨ ・健康づくり運動支援ネットワーク事業	17,524千円

（2）保健・予防対策の推進

⑨ ・県立リハビリテーションセンターの運営	752,572千円
⑨ ・子どもの事故予防推進事業	2,103千円
⑨ ・生活習慣病の予防と食文化の創造事業（湖北）	2,700千円

2 食育の推進

本県の風土、環境に適した滋賀らしい「身土不二」に立脚した滋賀県食育推進計画を策定するとともに、家庭、学校、地域で食育を総合的かつ計画的に推進する。

⑨（1）食育推進計画策定事業	6,800千円
⑨（2）学校と連携した食育推進活動モデル事業	1,166千円
（3）田んぼの学校推進事業	26,150千円
（4）親と子のおにぎり体験事業	7,200千円
⑨（5）湖っ子食育推進事業	1,000千円
⑨（6）ふるさとの恵み給食推進事業（東近江）	2,321千円
⑨（7）生活習慣病予防の食文化の創造（湖北）	1,180千円

3 質の高い医療サービスの提供体制の整備

誰もが症状に応じた保健医療サービスを、身近な地域で受けられるよう医療施設の整備を促進するとともに、看護師養成の質の向上を図るため、県立看護専門学校の改築整備を行う。

また、新型インフルエンザ対策として、抗インフルエンザウイルス薬の備蓄を行う。

(1) 医療施設近代化整備促進事業	431,800千円
(2) 救急医療機関施設等整備促進事業	660,419千円
(3) 看護専門学校整備事業	1,161,007千円
⑨(4) 抗インフルエンザウイルス薬備蓄事業	162,496千円

誰もが住みたくなる福祉のまちづくり

平成18年度における取り組みとその概要（新規事業を中心に）

誰もが安心して生き生きと暮らせる健康福祉社会の実現をめざし、健康福祉総合ビジョンの着実な推進を図るとともに、誰もが利用可能なユニバーサルデザインのまちづくりを推進する。

1 ユニバーサルデザインの推進

高齢者や障害のある人をはじめ、すべての人が自由に行動でき、安全で快適に生活できるようユニバーサルデザイン（UD）のまちづくりを一層推進する。

- | | |
|---|-----------|
| (1) 淡海ユニバーサルデザイン化事業（7施設） | 103,500千円 |
| (2) ノンステップバス等の導入促進 | 6,800千円 |
| (3) ユニバーサルデザインによるまちづくりの推進
（利用者の意見反映モデル事業、UD団体ネットワーク化事業、UD製品アイデア募集） | 1,672千円 |
| (4) 鉄道駅のバリアフリー化の推進 | 719,332千円 |
| ・北陸本線等直流化関連分
JR長浜駅（改築橋上化）、JR米原駅（＃）、JR木ノ本駅（＃） | |
| ・その他分
JR雄琴駅（駅施設バリアフリー化）、JR小野駅（＃）
近江鉄道彦根駅（自由通路バリアフリー化）、近江鉄道平田駅（無人駅利便性向上施設） | |
| (5) 歩道等のバリアフリー化の推進 | 182,000千円 |

2 新しい地域健康福祉のしくみづくり

高齢者や障害者、子どもなどだれもが交流でき、居場所として過ごせる地域の「縁側」づくりや、見守り・支え合いの体制づくりなど地域共生の仕組みづくりを推進する。

また、県民・利用者主体の質の高い健康福祉サービスの提供と適切な利用の推進、災害ボランティア活動の推進体制の整備に取り組むなど、健康福祉総合ビジョンの着実な推進を図る。

- | | |
|-----------------------------|-----------|
| ①(1) “あったか” たうんづくり事業費補助 | 13,500千円 |
| (2) 健康福祉サービス評価システム推進事業 | 3,531千円 |
| (3) 権利擁護センター運営事業費補助（26市町社協） | 110,069千円 |
| ①(4) 災害ボランティア活動推進体制の整備（再掲） | 1,200千円 |

3 滋賀の福祉ブランドの発信

地域で人々が支え合い、安心して暮らせる地域社会づくりに向けて、滋賀の先進的な取り組みを滋賀の福祉ブランドとして発信する。

⑧（1）“あったか”たうんづくり事業費補助（再掲）	13,500千円
⑧（2）糸賀一雄記念賞10周年記念事業	6,100千円
（3）働き・暮らし応援センター事業（再掲）	8,289千円